

## 【小児用肺炎球菌ワクチン】

予防接種の種類		対象者（年齢）	接種間隔、接種回数	
小児用肺炎球菌	初回 追加	生後2か月から5歳に至るまでの間にある者	初回接種開始時年齢：生後2か月から7か月に至るまで <b>【標準的な接種時期】</b>	
			初回	2歳に至るまでの間（標準的には生後12か月まで）に、27日以上の間隔をおいて <u>3回</u> 。 注3 2歳を超えた場合は、2回目、3回目の接種は行わず、追加接種を行う。 2回目の接種が1歳を超えた場合は、3回目の接種は行わず、追加接種を行う。
			追加	初回接種終了後60日以上の間隔をおいた後であって、1歳に至った日以降に1回。（標準的な接種期間は生後12～15か月） 注3 2歳を超えたことで、初回2回目、3回目の接種を行っていない場合や、初回2回目の接種が1歳を超えたことで初回3回目の接種を行っていない場合も、追加接種は実施可能。
			初回接種開始時年齢：生後7か月に至った日の翌日から1歳に至るまで	
			初回	2歳に至るまでの間（標準的には生後12か月まで）に、27日以上の間隔をおいて <u>2回</u> 。 注4 2歳を超えた場合は、2回目の接種は行わず、追加接種を行う。
			追加	初回接種終了後60日以上の間隔をおいた後であって、1歳に至った日以降に1回。 注4 2歳を超えたことで、初回2回目の接種を行っていない場合も、追加接種は実施可能。
			初回接種開始時年齢：1歳に至った日の翌日から2歳に至るまで	
			-	60日以上の間隔をおいて2回
			初回接種開始時年齢：2歳に至った日の翌日から5歳に至るまで	
			-	1回